



# CITY & LIFE

都市のしくみと暮らし

№. 37 AUTUMN 1995

特集 都市と歩道空間

さまざまな用途を担ってきた道。今世紀のモータリゼーションの発達は、その道を「車道」と「歩道」に分離し、道の性格に大きな変化をもたらした。戦後50年が経過し、日本でも歩車道の分離はすっかり定着した。しかし現状を見るならば、歩道が行き届いた環境にあるとは必ずしもいえない。より豊かな歩道空間を目指して、今、何が必要か考えてみたい。

## CONTENTS

★=編集部

|               |              |           |    |
|---------------|--------------|-----------|----|
|               | 歩行空間計画の今日    | 塚口博司      | 2  |
|               | 住宅地の街路とアメニティ | 篠原修       | 10 |
|               | 安心して歩ける道づくり  | 川嶋敏正      | 20 |
| 〈ルポ〉          | 「心のマップ」で歩くまち | 坂部明浩+内田勝久 | 27 |
| 〈写真構成〉        | 歩道を演出するデザイン  | ★         | 33 |
| 〈対談〉          | 歩く都市、走る都市    | 鹿島茂+鈴木正文  | 37 |
| 〈都市を拓いた人々・20〉 | 和歌山          | 吉田豊       | 45 |
|               | バックナンバーのお知らせ |           | 48 |
|               | INFORMATION  |           | 49 |